

第4回米原市定例教育委員会

日 時：平成27年4月21日

午前9時30分開会

場 所：山東庁舎3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 小路委員 本庄委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：宮崎次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：森田課長

図 書 館：雨森館長

書 記：西村

1 開 会

2 委員長あいさつ

新年度に入って、あっという間に4月の下旬になってしまいました。天候が不順で、寒々しい4月であったなという思いです。学校の方も園の方も順調にスタートしています。インフルエンザが若干流行っており、閉鎖している学校があるようです。年度始めの県の会合で県の教育長が冒頭に本日の学力テストについて話されたと聞いています。若干気になっています。ありのままを受け止めて、そしてまた地道に積み上げていただくというようなことでよろしくをお願いします。本日は第4回ということですが、新年度始まるにつきまして実質は年度始め第1回の定例の教育委員会でございます。この後、自己紹介もあると思いますが、新しく教育委員の本庄さんに入ってくださいました。他の者は変わらずですが、そういった中でやはり例年と同じ感じではなくて、教育委員会制度も改正されたところですし、教育委員会が形骸化していると言われないように内容の面でも何らかの工夫もしていきながら、より協議と審議を活性化し、何か新しい風が入り込めば幸いです。また、2、3年前に言っていましたように移動する教育委員会というように、ここだけでなく色々な他の施設等を見せていただきながらの教育委員会の開催というのも、移動時間等で課題も出てきますが、できましたら年に2回ぐらいは開催できればと思います。子どもに係る情報等につきましては、定例会議の中で、あるいは定例会議の外でも結構でございます。是非また色々な情報を共有できればと思いますので、本年もよろしくお願ひしたいと思ひます。新しく総合教育会議が

どういう形で実施していくのか事務局の方で色々検討いただいていると思います。昨年一度市長さんと懇談会をもったわけですが、当面の課題につきましては、お互い意見交換できる場を年に数回もてれば幸いです。事務局の皆さんには色々たいへんお世話になりますが、本年もよろしくお願ひしたいと思ひます。

3 委員、事務局職員自己紹介

4 会議録承認

3月定例会議事録 承認

5 教育長報告

4月1日から平成27年度がスタートしまして、新任職員の辞令交付また、教育部の仕事始め式等やらせていただきました。その時に私の方から、特に就学前から大人に至るまで、就学前は特に学びに向かう力をどう育てていくのか、小中学校の学校教育においては学ぶ力、学ぶ意欲をどのように培っていき、生涯学習を中心として図書館を含めて、学び続ける力、そういったものを大事にしながら学びのまちづくり米原、その米原にみんなが誇りを持つ、そんな教育行政ができれば良いなというようなお話を仕事始め式等でもさせていただきましたので、そういった部分を大事に各課での推進をよろしくお願ひしたいと思ひます。それからまた、4月6日から8日まで入園式・入学式がありまして各教育委員の皆様方にたいへんお世話になり、ありがとうございました。

昨日から各部局別の目標ヒアリングを市長、副市長、教育長、そしてシティマネージャーの四役で行ってます。今日は教育部のヒアリングがありまして、おそらく先ほど委員長が言われたような総合教育会議の話題も出てくるというように思っております。1つは、ふるさと米原に誇りを持つ、あるいはふるさと教育、そういったものが大きな話題になるのかと私は考えていますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

教育総務課は4月に入りまして、中学校6校の空調整備の入札が行われました。今後5月の連休前後から工事が入ってくるのではないかと、学校との打ち合わせが入ってくるのではないかとこのように思っています。昨年度の小学校の空調整備と同じ時期に、8月の下旬には整備を終えて、残暑に間に合うというところを目指していきたいと思っております。

学校教育課では、もう20日ほど終わりましたが、大きな事件事故等もなく順調に滑り出したというように思っています。日が経つにつれ子ども同士の色々な摩擦も出てくると思ひますので、いじめ・暴力についても昨年色々ありましたので今後も継続して見守り、また指導もしていく必要があるかと思ひます。特に、学校支援地域本部事業をスタートする柏原小中学校においては、井戸端会議ということで色々進めていただいておりますけれども、あくまで学校支援というところを大事にして進んでいただきたいと思います。

生涯学習課では、特に4月以降かなり色々な部分で教育委員会のほうでの協議をしていた

だいております。4月25日の家庭教育フォーラムのことでかなり詰めた話をさせていただいて、今このパネルディスカッションの事前の打合せに向けた取組を進めていただいております。当日、健康ルームでやるのか、大ホールでやるのかについてはもう少し参加の人数を見て見極めていきたいというところです。その日程については、10時40分からで、お手元に昨年社会教育委員会そして、庁内のプロジェクトで作りに上げていただいたものがありますけれども、『家庭において大切にしたい5つのことプラス1』これは携帯電話等のことが書いていますが、このへんを話題にしながら5人のパネラーでディスカッションし、出来れば参加者から意見をいただくというところで、各校園に持って帰っていただいて、PTAの研修部でこういった議論を深めていただく、研修していただく、また、意見をいただき修正していきたいと考えています。芸展運営委員会も今年は早く進めていただき、今年は市政10周年ということで、出席させていただいたところです。

歴史文化財保護課は、庁舎に来ていただければ分かりますように、今までルッチプラザに課長始め課員がいましたが、今年から教育総務課の横に事務所を移転ということで、今後より身近なところでの協議も進めていこうというところでありまして、出前講座等も例年のごとく出向いていただいておりますし、今年は古文書の解読をしていただける専門員の採用もありましたので、また顔を知っていただいて問合せ等ありましたら、気楽にさせていただければと思います。

学校給食につきましては、4月9日から給食が開始されまして特に今のところ大きな問題はございません。昨日聞きましたが、西部の給食センターで調理員さんが機械に肘を当てて怪我をされたという事故がありましたので、施設が変わると新しい課題もあるのかなということで、食の安全は大事ですが、働いていただく調理員さんの安全、健康管理にも気を付けないといけないと改めて確認させていただいております。そして、昨年1年間米原市で、学校給食共同調理場研究連絡協議会の事務局を持っておりまして、先日その総会をやらせていただきました。次期大津市にバトンタッチさせていただきました。

図書館は、今年度は図書館が外に出向くということからウェルカム図書館という考え方で、土曜日により多くの市民の方に子どもたちも含めて図書館に来ていただくという取組を大事にしていこう、昨年度から図書館の入口、あるいは本のセッティングも含めて、模様替えをしていただいておりますので、今年もより発展していければと期待しております。4月26日午後になりますけれども、子ども読書推進計画の第2次計画の記念講演ということで増田さんの講演会を予定しておりますので、また皆様方時間があれば14時からですので御参加お願いしたいと思います。そして、今までの図書館システムを新しくするというので入札の準備、プロポーザルの準備をしているところであります。個々の読書記録が明示されるようなシステムの導入というところで、今取組を進めていただいて、色々大きな課題がありましたけれども、何とかプロポーザルができるようなところまで持ってきていただいているところであります。簡単でありますけれども、全ての課の今の取組の状況を話させていただきました。詳細について各課長からよろしく申し上げます。

委員：教育長の方からまとめて報告をいただきました。年度の始めでございますので各課からそれぞれ発言いただけたらと思います。

事務局（教育部長）

教育部として頑張っていきたいと思うことは、米原の子どもたちに自分に誇りを持ち、地域に誇りを持って元気に取り組んでほしいと思います。わくわくしながら勉強して、わくわくしながら地域と楽しんでほしい、地域社会がみんな元気になる、そんな米原市にしていきたいと思います。各課から特に今年度に重点的なものを説明させていただきます。

事務局（学校給食課長）

今年の人事異動で私を含めて、西部も東部も所長が代わっております。それから現場の方も現業職員が1人東部から西部へ異動しております。こういった中ですので、慣れという面では心配な面がありまして、先ほども教育長から話がありましたが事故がありました。こういったことがありますので、食の安全はもちろん大事ですけど、まずは職員の安全を十分考えまして、そのうえで食の安全につなげていきたいと思っています。

事務局（歴史文化財保護課長）

歴史文化財保護課ですが、今年度につきましては特に合併10周年という記念の年になります。その中で、米原市の歴史の特徴的な部分を2つ大きな事業で推進していきたいと思っています。1つは全国山城サミットの開催です。10月24、25日に全国から山城サミットという加盟団体に米原に来ていただいて、また市民の方も参加していただく、テーマは特に鎌刃城、上平寺城2つの国の史跡がございますので、この2つの史跡と地元の方との関わり、自分の村のところに全国的に有名な城があるんですということをまちづくりに取り組んでいただいています。そのことをテーマにして全国に発信していきたい。もう1つは流星の打ち上げです。これは県の文化財になっていますが、自分で作って自分たちで上げるという一貫した工法が滋賀県の中で唯一米原の流星です。このことを全国発信していきたいということで重点取組というふうに考えています。それともう1つ、先ほど教育長から話がありましたが、この4月から古文書・文献を主に担当する学芸員を採用していただきました。その職員が来てもらった関係で、市内の古文書や文献が世に出る機会が増える、あるいは米原から外へ流出することを防げるような、そういうことで対応していき事業を進めていきたいと思っています。

事務局（図書館長）

図書館では、先ほど教育長から話がありましたように今週末の日曜日に講演会がありますので、入場料無料で前売りとかしていませんし入場整理券を配ったりしていませんので、どれだけ入っていただくか不安があるのは事実なのですが、なんとか

成功に終わらせたいと思います。それと7月末までに新たなシステムを構築する必要がありますので、プロポーザルを指名しました業者のほうに案内をしております。それと、5月の連休明けから各学校への巡回図書館がスタートしますが、これにつきましても市民力、市民の方の力を発揮していただき事業を進めていきたいと思っております。それと、予算等ついておりませんし私個人で考えているのですが、特に今年は終戦70年という節目の年になります。そういうことから7月か8月ぐらいにパネル展示をしていきたい。それと、3月は東北の方の震災が5年を迎えます。そういったものと関連した事業展開ができないか考えております。

事務局（教育総務課長）

教育総務課では、まず1つが学校施設の改修に関してです。中学校の空調整備については入札が終わりまして、昨日、工事業者への説明会をさせていただきました。今後整備を進め、残暑に間に合うようお願いしているところです。そのほかに非構造部材の耐震化ということで体育館の武道場やそういったところの吊り天井の撤去工事、それとトイレの洋式化ということで、これは小学校3校のトイレの洋式化、特に洋式化率の低い20%以下の学校、春照と息長と米原について工事をさせていただきます。工事できる期間は夏休みに集中しますので、かなり職員も忙しい状況になりますけれども、なんとか子どもたちに良い環境をつくりたいと思っています。それともう1点が教育委員会制度の関係で総合教育会議、これについては市長部局の政策推進課が担当しますが協議を進めながら、おそらく5月には1回目ができるのではないかと考えています。大綱の話が出てまいりますので、市長が大綱を定めるとなっていますので、それと合わせながら、教育振興基本計画が平成28年度で見直しということになります。今年度中に何らかの手を付けていく必要があると思いますので、またその時期がきましたら皆様方にお話しさせていただきたいと思いません。

事務局（生涯学習課長）

生涯学習課から御説明させていただきます。今回資料の形を変えました。生涯学習課の仕事は分かりにくい部分がありますので、整理をすると7つの領域・カテゴリーに分かれるということが分かってきましたので、今日は分かりやすい資料を作りました。1つ目のカテゴリーは「スポーツ」です。スポーツ推進協議会を始めました。2つ目のカテゴリーは「人権推進」です。人権推進協議会を6月11日に総会を予定しています。3つ目のカテゴリーは「生涯学習」です。社会教育委員の選任協議を始めました。少し遅れていたのですが本来は年度末にするものです。もう一点は家庭の教育力にこだわりたいということで、家庭の教育力とは何ぞやというところに資料を作っています。リーフレットを皆様にご送らせていただきました。年度末に出来上がった資料が皆様のお手元にあります。『家庭において大切なこと5つプラス1』です。この1つ1つの項目を先ほど教育長がおっしゃっていただいたとおり、

フォーラムで取扱い、さらに伊吹山テレビでコマーシャルを1点ずつ制作して放映します。5月22日から放映開始予定です。2週間に1本テーマを変えて、スポットCMで耳に焼付くようなフレーズをまず先に伝達していくというところから我々の作業が始まっています。4つ目のカテゴリーは「文化振興」です。全国高等学校総合文化祭・びわ湖総文というものが7月28日から8月1日まで開催されます。米原市は将棋と新聞の領域を文産会館と米原公民館を会場にします。実は課題がありまして、使用料を払う必要があるのですが、これにつきましては平成25年3月のときに整理がついていまして、地元の教育委員会が負担するというので整理がついています。減免ではない対応をさせていただくということで御理解してください。5つ目のカテゴリーは「指定管理」です。17の施設で指定管理をしています。その内の1つを除く16の施設につきましては先週の木曜に第1期の支払いを無事終えることができました。払っていないところは山東B&G海洋センターで、指定管理者からの請求を待ちながら1回目の支払いを行い、全てのところをスタートさせていくこととなります。6つ目のカテゴリーは「ルッチプラザ」です。市民交流プラザの理念を見ていただけるように西棟の1階に交流スペースを設定致しました。これからのホールの運営の中では自主事業、市単事業とならんで共催事業というものも年に何度かすることを予定しております。7つ目のカテゴリー「その他」では、行政財産の使用許可あるいは後援名義、仮称ふたば広場の暫定委託というところも現在スタートさせた状態です。

事務局（学校教育課長）

学校教育課としましては、学力や生きる力を高めていく、その基盤となる教育指導が最も大切な仕事ではありますが、基盤となる部分の整備というのが見えてきました。今日のヒアリングにも関わりがあるのですが、縦と横ということで学校・小規模校の充実を図っていく必要があると自分自身は思っています。まず横の部分ですが、地域に根差した学校づくり、地域の方に小規模校であるからこそ学校に入っただけで、専門的な力あるいはその人たちの生き方に触れて社会性を高めていくことと、他校との合同で実施していくことも横のつながりになるのではというように思っています。その横のつながりともう1つは縦のつながり、いわゆる小中の連携教育、1小学校1中学校のところは、ここで9年間を見通した教育を行っていくことが必要だと思っています。できるだけ合同でやっていくことが必要ではないかと思っています。その1つの手段として兼務の辞令ということを県の方に要請しています。これは今滋賀県の中では高島、彦根の鳥居本の小中で行われていることで、多分3番目ではないかと思っています。中学校の教員が小学校で専科指導を行うという形を今年からとっていきたいというように考え、県の方に申請しています。その利点としましては中学校1年のギャップ、小学校から中学校に行く段階でなかなか馴染めないということがあるのですが、中学校の先生が来ているということで中学校

との橋渡しをしていただきますので、そういうギャップが少なくなるのではないかと、ということと、小学校と中学校の文化は違うものがあります。中学校は受験がありますし、小学校は授業作りを中心におくところ。そのあたりを融合できるのではないかという思いがあります。それを兼務ということで実施していきたいと考えています。そういうように横糸と縦糸で学力を高めていきたいわけですが中心になるのは授業改善ということになります。教育長もよく言われますが、ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりということです。発達障がいがある子に視点を当てていくことによって、どの子にも分かるような授業というのが作られるのではないかと考えています。具体的には授業の展開の仕方、教えることと考えることの区別をしっかりと分けていくことと言われていますが、授業の展開、教材、そしてその中で、語り合える話し合える関わり合えるという授業をつくっていくことが必要ではないかと考えます。そのために学校訪問を今年度から実施していくこととなります。その方向に向かって地道に米原市は進めていきたいと思っています。学力に関わっては、教育センターの市の学力状況調査、それから全国学力状況調査も含めて中西補佐が統括してやっていきます。成果をできるだけ早く上げたいと思っていますけれども、そういう基盤づくりをしっかりとしていきたいと思っています。

委員：ありがとうございます。それぞれの課からお話しをいただきました。胸が膨らんできたといいますか、27年度から楽しみだという思いで聞かせていただきました。委員の皆様から感想も交えながら、お尋ねになりたいことはありますか。

委員：歴史文化財保護課の出前講座で古民具回想法というのをやっておられるのですが、具体的にどのようなものか教えていただけますか。

事務局：会場としては伊吹山文化資料館が多いのですが、各自治会に出前をさせていただくこととなります。中身としては、資料館にある色々な昔使っていた道具、石臼、紙の柄杓に炭をいれて、それをアイロン代わりに使っていたとか、昔日常的に使っていた道具を持っていきまして、集まっていた方に昔の楽しかった思い出を回想していただくものです。端的に言いますと、昔楽しかったことを思い出して皆さんで喋ることで、認知症の予防や進行を防止する療法を回想法と言っています。それを昔の古民具を使ってやりましょうという講座です。

委員：今、お茶の間サロンをやっているから、今のお話を聞いてそれを広めていくのは良いことだと思いました。

事務局：最近サロンではよく出てくる講座です。どうしてもひきこもりがちの方が多いのですが、講座に出てきていただいて、昔の楽しかったことを思い出していただき、皆さんで盛り上がりまして喋っていただくことで楽しい気分になり、そういうことで資料を生かすということなんです。

委員：新たな文化財の側面ですね。私の集落もお茶の間サロンをやっているんですが何したらよいか分からんとか、どういうふうに時間を過ごしたら良いのか悩んでいらっ

しゃる方が多いので、是非そちらの方もお願いします。

委員：夢のある話ですが、石田三成が大河になる可能性は今後あるのでしょうか。

事務局：商工観光課と連携しながら、そういう運動や展開をしているところで色々なイベントの間に会場で署名活動も合わせてさせていただいています。米原市だけでなく長浜市、彦根市の3つのまちで石田三成をテーマにして盛り上げていこうという形で進めています。大河になるかどうかは具体的に今なんとお答えして良いか分からないですが、この地域から出てきた全国区の人物です。様々な評価がされていると思いますが、本当の石田三成の真実度を発信することができればと思っています。その意味でこの27年度は私ども主催の歴史講座というものがあまして、その中で3回から4回ぐらいテーマを盛り込んでいこうかと思っています。

委員：彦根と長浜と米原の観光のセクションが共同でやってらっしゃるのは珍しい。

事務局：観光と文化財の連携で進めていきたいと思っています。

委員：小学校、中学校ではないのですが、ヘッドフォンをつけたまま自転車で走っていて、ヘッドフォンをつけているからあいさつをしても無反応の子がいたりするんですが、幼児がいるときにヘッドフォンをつけて自転車で走っているという危険な状況もあります。中学校ではヘッドフォンは許可されているのですか。

事務局：許可されていないと思います。

委員：自転車の賠償というのが出てきているらしいので、特に注意してほしいと感じました。また、学校の卒業生に学校を見学させてくださいと言ってこられた場合に全面許可をするのですか。こういった対応をとられていますか。

事務局：見学をしてもらうことはできます。

委員：自由に見学することができますか。職員が付いて回るのですか。

事務局：場所によるのですが、目的を聞かせていただいて許可するという形ですので、基本的には一緒に付いて回ることになります。

委員：卒業生はルンルンで回り、悪意がなくても携帯で写真を撮って、それがアップロードされるおそれがあるので注意をする必要があると感じました。スマホの問題が子どもたちの間にも上がってきているように感じました。

図書館についてですが、ブックスタートに袋をプレゼントしますよね。すごく丈夫で結構お金がかかっていると思うんですが、もっと子どもが喜ぶ配色にできないのかと思っています。なぜかと言うと、現実に幼稚園に行くと使う子がほとんどいないのです。米原幼稚園でもうちの孫ともう1人いるぐらいらしいです。こんなに良い袋なのにもったいないと言っていました。もし許されるなら、そういうことも考えていただけたらと思いました。

事務局：ブックスタート事業について説明させていただきます。米原市では「10か月検診」に合わせて、赤ちゃんに「初めての本」と「お話」をプレゼントする事業で、初めての本を入れるための袋を用意してお渡しをする、さらに赤ちゃんにボランティア

さんが読み聞かせをする事業です。イギリスのバーミンガムというところでスタートし、日本では北海道恵庭市を皮切りに始まった事業です。滋賀県内では、すごく早い時期に山東地域、伊吹地域でスタートし、米原地域が追いかけ、合併してから近江地域に広がりました。スタートが本に係る事業ということで、米原市では図書館が所管していますが、多くのところでは子育て支援や健康づくりの部署が所管している事業です。これにつきまして今年度は、図書館が他課と協議をおこない、この事業を図書館の業務として持つべきかどうかを整理をしていく予定です。もちろん本を選ぶ作業については図書館が責任を持ってやっていくつもりです。もう1つはこのブックスタート事業というのは実は根本が一本でNPO組織のところから袋を買うと決まっています。布袋を一定のところまでまとめて購入することで、全国の希望されている数を絞り込み、コストを大きく下げること成功している事業です。袋の配色は、そこで決まったものであることを御理解ください。この袋については幼稚園では利用されていないかもしれませんが、図書館という局面で見ますと、子どもを連れのお父さんお母さんが何年も先までその袋を持って本を借りに来るといった動きがあり、最初に袋をプレゼントすることが、次の家庭の教育につながっていくということになります。

委員：良いものだから長く使えるものだと思いますし、袋をお渡しするときにその説明があれば良いかと思いました。

委員：日頃から広報や回覧板を通して色々な市の情報を知るようにはしておりますけれど、本年度も色々な課で新しく工夫をされ、色々な事業を展開されるということで広く市民の皆様を知っていただければと思います。せっかく良い事業をされているのが見落とされていると惜しいような気がします。関心のある方は見られますけれども、こういうことをされていると知っていただきたい。都合で参加できなくても米原市は10周年でもありますし、色々なことをされていることを広く皆さんに知っていただきたいなと思いました。

委員：各課の方から御説明いただき、生涯学習課の7つのカテゴリの話を聞かせていただき、あらためてその範疇が広いと感じました。私たちは学校教育の狭い中でやってきて、昔から学校の先生は生涯学習課には向かないと感じていました。10周年という節目の年で課長からイベントのお話もあったんですが、そういうことを広報やテレビを通じて市民の皆様へアピールするにあたり、それぞれが連携しながら情報を流してもらいたい。各課長が校園長会に毎月出席しておられるのですか。

事務局：次長という立場で出席しておりました。各課がお願いする場合にはそれぞれ所管の課長が出席しておりました。ですから常時出席しているというわけではありません。

委員：必要な時に出席するのではなくて、毎月の校園長会に常時各課長が出ていただいでいて、そして必要なことだけでなく、学校の話聞きながら、それに合わせて各課の取組を紹介する機会を設けることはできないかと提案させていただきますので、

御検討ください。学校現場の校園長の先生方が生涯学習の色々な情報を知っていることが学校教育に大変有益に働くのではないかと私は思います。どうしても視野が狭くなってしまうので是非御検討いただきたいと思います。2つ目に着任式の際に元気のない先生がおられたことが気になっていたのですが、新任の先生や転任されてきた先生など色々あると思いますが、先生方にも目線を持っていただいて御指導していただけたらという思いです。元気に笑顔で仕事をしていただきたいと思いません。3つ目に家庭教育フォーラムはたいへん御苦勞様でした。フォーラムを聞いただけでなく実践につなげられたらと思いました。学校教育課長の説明で、鳥居本小が一貫校で今年から正式にスタートしましたが、一貫校でなくても小中の連携はできると思いますので取り組んでいただきたいと思います。

事務局：柏原中と河南中が、理科や体育の授業で余裕のあるところはいくようになっていますが、一貫校の指定がいいのかは疑問をもっています。ある雑誌を読んでいると6年生が上級生としての自覚がなくなっていると書いてありました。節目節目の変わりという部分はある意味価値があるところかなと思います。一貫校ではないけれど、小中学校の連携を大事にしていきたいと思います。総合教育会議の中で、一貫校の特色というものがでてくるかもしれませんが様子を見ていく必要があります。

6 議案審議

報告第 1号	専決処分の報告について	【教育総務課・学校教育課】
議案第40号	臨時代理の承認を求めることについて (米原市教育委員会事務局組織規則の一部改正)	【教育総務課】 原案承認
議案第41号	臨時代理の承認を求めることについて (米原市教育委員会事務決裁規程の一部改正)	【教育総務課】 原案承認
議案第42号	後援等名義使用承認(後援)について ○写生大会2015～ひこねウォッチッチ～	【教育総務課】 原案承認
議案第43号	後援等名義使用承認(後援)について ○第12回湖北地区都山流尺八演奏会	【生涯学習課】

委員：都山流とは何ですか。

事務局：流派の1つです。尺八を吹いている人は皆都山流です。先般ですと、近江図書館で伊吹高校の演奏会が3月に開催されましたが、その時に指導されていた先生もその1人です。

原案承認

議案第44号 米原市通級指導教室設置規則の一部を改正する規則について

【学校教育課】
原案承認

7 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援）について

- 平成27年度飛込教室 【生涯学習課】
- 第19回千寿舞の会発表会
- 第13回川端旗争奪野球大会
- 第26回米原親善野球大会
- 第64回滋賀県青年大会
- 米原市芸術展覧会10周年記念特別企画展
- 平成27年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文・絵画・ポスター募集

【子育て支援課】

(2) 米原市体育振興員の委嘱について

【生涯学習課】

委員：4つの地区の振興員さんが集まって総会的なことがあるのですか。

事務局：各地区の振興員の席にバックアップする形で全体をまとめる方がかなり参加されています。色々な組織体になっていると理解しています。

事務局：スポーツ推進計画があって地域スポーツへの皆の健康づくり、お互いの人間関係の絆や、スポーツを通じたふれあいの場を体育振興員さんが担うという自覚がないと、アンケート結果では週1回スポーツする人が少ないものをできるだけ高めていくためには、そういった場で浸透していただければと思います。

委員：名簿をみると高齢者もいます。地域の事情もあると思いますが、地域の活性化という意味で選出の時点で考慮していただければと思います。

事務局：山東地区の総会に出席させていただきましたが考え方が両極端です。

委員：字で行事をこなしたらいいのではなく、市は推進計画があるから今年はこの活動にチャレンジしてみようとか、そういう繋がりをもってもらえるとありがたい。

委員：空白のところは決まっていないのですか。

事務局：この段階で決まっていないということで後日報告があります。

(3) 平成 27 年度米原市奨学資金の貸与予定者について

【教育総務課】

8 質疑応答

9 その他

10 閉 会
次回

第 5 回定例教育委員会 5 月 19 日 (火) 午後 3 時 30 分～

山東庁舎 3 階 第 2 委員会室

以上をもって第 4 回定例教育委員会を午前 11 時 50 分に終了した。